

調査名	分析	実施結果 (正答率)	
		区	自校
区 学力調査 全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～4年生については、概ね区平均を上回る結果を出すことができた。また、全国平均に対しても、同様の結果を出すことができています。 ・ 5、6年生については、区平均、全国平均に対して、低い結果となった。しかし、5年生については、経年的に見ると上昇傾向となっているため、6年生時点で学年の学習と共に、既習事項の再復習を行うことによって、基本的な事項の習熟を図っていく。6年生についても同様に基本的な学習内容の落ちがないよう、習熟を図ってきたところである。 ・ 教科別に見ると、国語の中における活用問題において課題が見られる。 	1年	1年
		国 80.1 算 83.2	国 83.3 算 92.1
		2年	2年
		国 86.2 算 87.5	国 85.7 算 89.0
		3年	3年
		国 74.8 算 74.4	国 79.5 算 74.2
		4年	4年
国 72.4 社 55.0	国 72.4 社 56.8		
算 76.4 理 64.8	算 80.3 理 70.6		
5年	5年		
国 70.5 社 59.2	国 66.9 社 53.6		
算 67.0 理 65.6	算 65.4 理 63.6		
6年	6年		
国 73.2 社 67.5	国 50.9 社 55.3		
算 68.9 理 63.1	算 57.7 理 52.0		
都 学力調査 小5	<ul style="list-style-type: none"> ・ A教科の内容とB読み解く力に関する内容について、若干結果が異なった。A教科の内容については、全教科を総合して2ポイントから6ポイント都平均を下回ったが、国語のB読み解く力のみ都平均を上回った。算数は、A教科の内容は、ほぼ都平均と同様であるが、B読み解く力に関する内容が10ポイント近く低い部分がある。全教科において、基礎的な学習問題の他に、活用問題等を積極的に取り組ませ、十分思考して解決する力を育成する必要がある。 	都	自校
		5年	5年
		国語 73.8	国語 71.0
		社会 72.4	社会 67.0
		算数 62.5	算数 59.9
理科 62.7	理科 61.6		
全国 学力調査 小6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語における学習の定着度が低いことが分析できた。中でも書くことについての結果が思わしくないため、28年度の校内研究は国語科の書くことを通しての研究を実践してきた。また、俳句、図書館を使った調べる学習、小論文、読書感想文には、全児童が取り組んだ。特に俳句は、本校の特色でもあり、各学期ごとに新たな作品を制作し、親しみながら取り組んできた。 	全国	自校
		6年	6年
		国語A 72.9	国語A 57
		国語B 57.8	国語B 31.1
		算数A 77.6	算数A 72.9
算数B 47.2	算数B 39.3		

<平成 29 年度の具体的方策>

【学力向上のための方策】

1 指導計画

(1) 活用力の向上

各学年の国語において、基礎的な習熟が図れていることから、思考力・判断力・表現力の高まる指導計画を立案し、授業の中で活用力の高まる学習課題に取り組み、これらの力が向上できるよう展開していく。また、主体的・対話的な活動を取り入れ、学びが深まるよう図っていく。

(2) 書く力の向上

国語の中でも、書くことについての力の育成を図る必要性が高い。全校的な取り組みとしての活動として、俳句、調べる学習、小論文、読書感想文等について、さらに充実させていく。

2 指導形態

(1) 問題解決型学習

算数における校内研究に取り組み、全学級担任と習熟担当教員が、確実に問題解決型の学習形態を取り入れ、児童に対して考える授業を展開する。そのことによって、思考力を高め、活用型の問題にも適用できるようにする。

(2) 習熟度別学習

展開数を増加してさらなら少人数編成にすることによって、個別指導を充実させ、個に応じた指導を充実させ、学力の向上を図る。

3 補充学習

放課後学習をさらに充実させていく。特に、高学年において参加者が乏しく、参加に消極的なため、担任等が仲介役となって外部講師と上手に連携を図り、参加者を増加させ、基礎的な学力の底上げを図る。

4 各種検定について

27年度まで、漢字検定及び算数検定には、学校としての取り組みはなかった。28年度に漢字検定の準会場として取り組んだところ、全校児童の60%を超える児童が希望して受験した。29年度は、さらに算数検定にも取り組み、児童の学習に対する関心意欲を高め、日常における学習態度の変容をねらい、学力のさらなる向上を図っていく。